



Dublin City Schools
Chromebook Loan Agreement Certification
Chromebook の借用同意書
2018-2019

私達, _____ (保護者) と
(名前を活字体で書く)

_____ (生徒)は、
(名前を活字体で書く)

この Chromebook 借用同意書を受け取り読みました。生徒が負う権利と責任を理解し、ダブリン学校区の学生行動規範に沿ったルール、ガイドライン、手続き、基準を尊重し、守ることに同意いたします。

保護者のサイン

生徒のサイン

Dublin City Schools

1:1Chromebook 借用同意

方針と手続き

ダブリン学校区では、全ての生徒の個々に合った学習の達成を助ける、環境とリサーチを基盤にした教育実践に取り組むことを含んだ世界レベルの教育を信じております。少人数での指導を通しての充実した学習経験を作り上げることが重大であると同時に、最新の機器やあらゆる資料の使用はまた、学習と資料入手への重要な鍵となります。

ダブリン学校区（これ以降学校区といたします）は、学校及び家庭での学習の目的として6年生と9年生に Chromebook を提供できることを嬉しく思います。次に続く資料は、Chromebook を受け取るにあたり、学区の要求、責任、取り扱い、及び使用方法を理解する為のものです。

第1項: 目的

- 最新の機器を使用することは、今日の読み書きの能力を高める学習経験に不可欠である。各生徒にデバイスを提供することは、以前教科書が提供されたのと同じように、学習活動の場を平等にし、全ての生徒が公平に教育課程にアクセスできることを確実にする為である。
- 即時に有効な情報や項目にアクセスすることは、今日の私たちの世の中では、現実的な期待である。教員や生徒たちにそのアクセスを可能にする為、機器を供給することは不可欠である。
- 私たちの学習管理システム (Schoology) と少数人中での指導を補完する為機器を支給することは、全ての生徒の学習体験を引き続き高める。

第2項: Chromebook 借用同意

- 2.1 Chromebook は、その学年間の学習目的の為の”貸し出し使用基準”として、学校区が生徒に提供する。その Chromebook とその付属品は、その間中もダブリン学校区の所有物である。
- 2.2 生徒及び保護者により 1.1Chromebook 借用同意書（付嘱書1）、インターネット容認使用規約（付嘱書2）、コンピューター利用規約にサインとテクノロジー料金の支払いが完了すれば、生徒はその学年間 Chromebook を家に持ち帰ることができる。
- 2.3 生徒は高価な機器として Chromebook を取り扱わなくてはならない。その機器の取り扱いは生徒の責任であり、安全な運搬と保管を確実にする。
- 2.4 Chromebook を学校時間以外で自宅のインターネットにつなげ使用してもよい。学校区で認められたもの以外のソフトウェアをインストールしてはならない。
- 2.5 生徒は、Chromebook または学校所有のコンピューターの他の使用者のアカウントに追加、削除、入力、変更をしてはならない。
- 2.6 機器とその使用者を明らかにする為、証明ラベルが Chromebook に貼られている。そのラベルを剥がしたり変更したりしてはならない。もし、ラベルがなくなったり、損傷したりした場合は、直ちにテクノロジーサポートへ連絡をする。
 - 2.6.a 各ユーザーごとに明確な特権と機能が Chromebook に設置してあり、その機器が渡された生徒のみが使用することができる。
 - 2.6.b 学校区は、同じ Chromebook を middle school の学年中に、また high school 期間は別のも

のを支給する

- 2.7 生徒は、学校区の利用規約、生徒行動規範、及び市、州、国政府の制定法に従って Chromebook を使用する。
- 2.8 Chromebook は学校区の所有物であるので、学校職員は、いかなる Chromebook に保管されたものも、それからアクセスされたものも、検査する権利を持っている。同意書の違反は、個別に吟味される。学校管理職の職員は、生徒の Chromebook の使用の特権を一時停止または無効とする権利を持っている。
- 2.9 学校区は、Chromebook を使用して生徒や家族が購入した品やサービスの財政責務は負わない。これらの行いは、学校時間中には許可されない。
- 2.10 Chromebook は学校区の所有物であり、借用同意書の学年の終わり、学校区からの転居、教員または管理職員による要望の際には、返却されなければならない。
- 2.11 故意による損壊または破損、違法、または、Chromebook の返却がされない場合は、警察へ通報され、刑事的処罰の対象となることもありうる。

第3項: テクノロジー費用

- 保護者/生徒は、払い戻しのきかない年間費 \$ 40 を学校区へ支払わなければならない。集められた費用は、生徒の不注意による Chromebook の破損の修理、1:1 の学校区のプログラミングサポート (費用/プロテクション資金) 資金に充てられる。
- 全ての 1:1 参加者は費用全額、または支払いプランを 2017 年 10 月 1 日までに提出しなくてはならない。無料または減額ランチの対象である家族は、費用の免除または政府の対象手当のレートに合わせた減額の費用を払う。
- もしテクノロジー費用が支払われていなければ、保護者/後見人が Chromebook の交換費用 (市価) または修理費用の責任を持つ。
- 費用は、編入時からの日数で請求される。1 月 1 日以降に学校区に転入した生徒に対しては、一律 \$ 20 になる。
- \$ 40 の年間テクノロジー費用は、Chromebook の交換 1 回と破損/修理 2 回を含む。
 - 破損/修理には、破損したスクリーン、キーボードの補充、破損したちょうつがいと電源とヘッドフォンの差込口が含まれる。
 - 充電コードはテクノロジー費用に含まれない。紛失したコードは、保護者/後見人が購入しなければならない。
- 生徒の意図的な破損はこの費用/プロテクション資金からは払われない。もし、管理の怠りにより Chromebook が紛失、損壊した場合、保護者/生徒は、そのデバイスの購入金額の全額の責任を負うこともある。
- ダブリン学校区の 12 年生で、9 年生、10 年生、11 年生の時にテクノロジー費用を支払った生徒は、11 年生時の春に \$ 1 を支払って、自分の Chromebook を購入する選択肢が与えられる。11 年生は、大学が就職の申し込みができるように、12 年生に上がる夏の間に自分の Chromebook を保管できる。
 - 12 年生は \$ 40 のテクノロジー費用を支払わなくてよい。
 - Chromebook の購入手続きをした生徒は、12 年生の最終登校日後にその Chromebook が自分の物になる。
 - ダブリン学校区は、12 年生最終登校日後の自身の所有する Chromebook の紛失、盗難、修理、又はいかなる損害に対して責任を負わない。

第4項: **Chromebook** の取り扱い 生徒は、**Chromebook** を高価な機器として取り扱うべきである。**Chromebook** は、学校の所有である。利用者は全て、行動規範、及び全ての利用規約に従う。

基本的な注意と取り扱い

- **Chromebook** に、学区のものではない字や絵の書き込み、シールやラベルを貼ってはならない。
- **Chromebook** を監視のない状態に置き去りにしない。
- 次の日に備えて、**Chromebook** を充電するのは生徒の責任である。

スクリーンの取り扱い 乱暴な扱いをすると **Chromebook** のスクリーンに傷がつく可能性がある。スクリーンは過度の重圧に対して特に壊れやすい。

- スクリーンにいかなる重圧をもかけることを避ける。
- 重圧によるダメージを避けるため、ものが入りすぎたバックパックの中に入れない。
- スクリーンをきれいにするためには、乾燥した柔らかい、マイクロファイバーの布か静電防止の布を使用する。強い化学薬品の使用はスクリーンにダメージを与える。

Chromebook の持ち運び

- 生徒は、**Chromebook** の正しい持ち運びの方法を学校で学ぶ。
- 生徒は、**Chromebook** をバックパックや他のバックの中に入れる際、細心の注意を払う。過度の重圧や、重さが **Chromebook** にかかる、スクリーンにダメージを与える原因となりうる。

4.1 - 家族及び保護者の責任 お子様は、少人数による指導の中で、学習がより高められ、また個々に適したものにするために、**Chromebook** を支給いたします。以下の内容に援助いただくと幸いです。

- 学校時間外での使用する時間を管理指導する；
- インターネットの適切な使用に関し常に話をする；
- **Chromebook** に問題が生じた場合、個人で修理を試みず、報告をする；
- いかなるソフトウェアも消去したり、ダウンロードしない；
- 学校の前の日は、必ず充電をするようにする；
- 毎日、**Chromebook** を忘れずに学校へ持参させる。学年終了時、または学校区から退学する時

に、**Chromebook** を確実に返却する責任は、保護者にもある。

各家庭は本同意書に従い、学校区とその関係業者に次に挙げた状況に対し保障責任を負い、また損害を与えないとする：弁護士費用とそれに関連した諸費用を含む、いかなる、または全ての請求、訴訟、控訴、法的手続き、費用、経費、損害と負債、デバイスの使用から生じた問題、または、デバイスの製造、発送、所有、使用、操作、または返品など、制限はない。

4.2 - 生徒の責任 **Chromebook** は重要な学習機器であり、学習の目的のみに使用する。生徒は、学校内外で **Chromebook** を使用する際、全ての学校区の規約、利用規約に従う。生徒は、**Chromebook** を使用するときは、一般的な良識と同じく、市・州・政府の法律に忠実に従う。

生徒は、

- **Chromebook** は、常に清潔に乾いた状態にし、飲食物を近くに置かず、落とさない；
- **Chromebook** は前日に充電し、毎日学校へ持ってくる；
- **Chromebook** を適切な運び方と入れ物で持ち運びする；
- **Chromebook** は、友達や兄弟姉妹はもちろん、いかなる者にも貸し出しをしない；
- 学校が承認していないソフトウェアを **Chromebook** にダウンロードしない；
- **Chromebook** にあるプログラム、ファイルを削除しない；

- Chromebook を使用する際、個人情報を発信しない；
- 全てのアカウント、パスワードは安全なところに保管し、他の生徒に渡さない；
- テクノロジー担当のサポートの指示なく Chromebook の修理を試みない；
- 指示があった時、または退学の際には、Chromebook を返却する。

さらに、全てのデジタルによるコミュニケーション（Eメール、チャット、メッセージ、討論、掲示など）は、学習に適したものであり、適切かつ責任あるものであることを生徒は同意する。

